

# 地域の環境を守る南阿蘇「水田お助け隊」に参加

## 生産サイトでの地域との協働

富士フィルムグループの液晶ディスプレイ用フィルムの50%以上を生産している富士フィルム九州（熊本県菊池郡菊陽町）では、地域の方々と地元の豊かな生活環境を守るべく、人的な交流や自然環境の保全などに積極的に取り組んできました。その一環として2010年には、南阿蘇村が主催する「水田お助け隊」に参加しています。

同村は、熊本県の代表的な観光地でもある阿蘇カルデラの南に位置し、富士フィルム九州のある菊池郡に隣接。稲作の盛んな土地ですが、農家の高齢化や後継者不足で近年、水田の維持が難しくなってきました。「水田お助け隊」は、そうした危機を乗り越えるために、田植えや稲刈りの手伝いを南阿蘇村が呼びかけていたもので、富士フィルム九州では社内に広く告知して、今回は従業員約50名の参加になりました。

水田が荒廃すれば、大切な日本のふる里の景色が失わ

れるだけでなく、水田の保水機能が低下し、洪水が起きやすくなったり、湧き水が減るなど、様々な弊害が発生します。「水田お助け隊」への参加は、地域社会の一員として地元を支えるための具体的な行動であり、従業員やその家族の環境意識の向上に役立っています。



田植えの風景



参加者全員で記念撮影



富士フィルム九州が協力した「水田お助け隊」の告知パンフレット